MAX

JP11250(00/02)

取扱説明書 お客様用

手動給水タイプ

ディスポーザ

本書は家庭用生ごみ処理機の取扱説明書です。

品番

GD-B182M-2

- ディスポーザとは?
- マックスディスポーザの特長 1ページ
- ご使用時のお願い 2ページ
- 投入してはいけないもの 3ページ
- 安全上のご注意（必ずお守りください） 5ページ
- 各部の説明 7ページ
- フタスイッチの使い方
- ブザーの種類 8ページ
- 使い方 9ページ
- お手入れのしかた 11ページ
- 消耗品 12ページ
- 故障かな?と思われたら 13ページ
- アフターサービスについて
- 仕様 14ページ

⚠ **注意** 自治体の許可がある場合を除き、ディスポーザ単独での使用はできません。当社指定の処理槽が必要となります。

このたびはディスポーザをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を必ずよく読み、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
5, 6 ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

□この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保管しておいてください。
□保証書は、記載してあるお買い上げ日･販売事業者名･保証内容などをよく確認し、大切に保管しておいてください。
□この取扱説明書を紛失された場合や、ご不明な点があれば、お買い求めの販売事業者または、当社にお問い合わせください。

取付業者の皆様へ　この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

ディスポーザとは？

ディスポーザは台所のシンク下に設置され、水を流しながら運転することで、キッチンから出る生ごみを細かく破砕し、屋外排水処理槽に流す設備です。
生ごみを処理することで、キッチンを清潔に保てます。ディスポーザで処理した生ごみは処理槽を通して、下水道に流します。

マックスディスポーザの特長

マックスディスポーザは、バスケットを取り外して、丸洗いすることができます。
本体・バスケットの汚れを取り除き、カビ・ヌメリ・悪臭等を抑えることができます。

バスケットを取り外すことができます。

本体も丸洗いできます。

バスケットが丸洗いできます。

ご使用時のお願い

1 破砕しやすくするために

大きなもの、かたいもの、長いものは細かく切って投入してください。
いろいろな種類の生ゴミを混ぜて投入してください。

※目安は３㎝角程度です。

2 破砕性能を保つために

フタスイッチは上フタと下フタを一体にして使用してください。

上フタの∨と下フタの∧を合わせて上フタを図の矢印の方向に回して上フタを組付けてください。

3 排水管の詰まり防止のために

生ごみを破砕するときは水栓をストレートに切り替えてください。
浄水器内蔵タイプの場合は原水に切り替えてください。

4 破砕性能を保つために

生ごみの1回の投入量はバスケット内部の目盛を目安としてください。

生ごみの量が多いとフタスイッチが閉まらない場合があります。

5 破砕性能を保つために

フタスイッチの下フタの小さな穴をこまめに洗ってください。

小さい穴がふさがっていると性能が低下するおそれがあります。

詳細は P.11へ

※フタスイッチは上フタと下フタに取り外しできます。

6 排水管の詰まり防止のために

１週間に１回程度フタスイッチとバスケットを外し、鍋や洗いおけなどに溜めた多めの水を流してください。

詳細は P.12へ

投入してはいけないもの（故障の原因となるもの）

●機器の故障　●排水管の劣化　●屋外排水処理槽の性能劣化

種　類	品　名　例
金属類	スプーン、フォーク、ビンの栓など
ガラス類	コップ、ビンの破片など
陶器類	お皿、茶碗、箸置き、湯のみなど
高温のもの	熱湯、高温の油など ※本体内部や配管を劣化させ、屋外排水処理槽での処理を妨げます。
油、薬品類	多量の油、凝固した油、廃油、 殺虫剤、除草剤、配管洗浄剤、漂白剤、 多量の酸・アルカリ性洗剤など ※本体内部や配管を劣化させ、屋外排水処理槽での処理を妨げます。
食品の食べられない部分	甲殻類の殻、骨、貝殻、種など
その他	●割り箸、爪楊枝、輪ゴム、プラスチックトレイ、ポリ袋、ラップ、アルミホイール、発砲スチロールトレイ、キッチンペーパーなど ●たばこの吸い殻、ティッシュペーパーなど ●紙、金属、石、砂、生花、花の茎、枝、布など

投入してはいけないもの（詰まりの原因となるもの）

●処理されにくく、ディスポーザ内部に残ったり、排水管に残って詰まりにつながる可能性があります。

種　類	品　名　例
野菜・果物	●大根の皮、玉ねぎの皮、とうもろこしのヒゲ・皮、タケノコの皮、ねぎ、にら、かぼちゃ、枝豆のさやなど ●グレープフルーツの皮、栗の皮、パイナップル、バナナの皮・ヘタなど
肉・魚貝類	●鶏の皮、肉の脂身など ●魚の皮、貝の身・タコ・イカ、海藻など
その他	●卵の殻、生米、ジューサーのしぼりカス、コーヒーのカスなど ●大量の炊いたお米、餅、ガムなど

安全上のご注意（必ずお守りください）

○ご使用前に、この事項を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
○この項に示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
○ここでの『人』とは、使用者のみでなく、ご家族、来客者および購入者から機器を譲渡された人も含みます。

▼ 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ 注意	人が軽傷を負う可能性、及び物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

▼ お守り頂く内容を図記号で説明しています。

	「禁止」		「必ず行うこと」
	「分解禁止」		「ぬれ手禁止」
	「接触禁止」		「注意喚起」
	「アース線をD接種地工事に基づいて必ず接続すること」		

⚠ 警告

使用禁止

■運転中に機器から異常音や異臭、その他、運転が通常と違うことを感じたら、直ちに運転を停止し、電源プラグを抜く
※マックス お客様ご相談ダイヤル **0120-228-457** までご連絡ください。
異常のまま運転を続けると火災や感電のおそれがあります。
■交流100V以外では使用しない　火災・感電・故障のおそれがあります。

禁　止

■電源コードや電源プラグを傷つける、改造する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、熱器具に近づける、重い物を載せる、束ねる、はさみ込む等、破損するようなことはしない
傷んだまま使用すると感電・ショート・火災のおそれがあります。
電源コードや電源プラグの修理は、工事店にご相談ください。
■コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災のおそれがあります。
■本体各部や制御ボックスに直接水やお湯・洗剤等をかけない
火災・感電、故障のおそれがあります。
■子供だけで使わせない　けが、故障、感電のおそれがあります。
■フタスイッチを外した状態で、本体の投入口に磁石を近づけない
誤作動してブレードがまわり、けがをするおそれがあります。
■電源コードは途中で切断したり、延長しない　火災・感電のおそれがあります。

分解・修理禁止

■改造は行わない。また、修理技術者以外※の人は、分解したり修理は行わない
火災・感電・けがのおそれがあります。（※マックスメンテナンス登録会員証を所持する技術者）
修理は マックス お客様ご相談ダイヤル **0120-228-457** までご連絡ください。

必ず守る

■電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災のおそれがあります。
■傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しない　火災・感電のおそれがあります。
■電源プラグのほこりなどは、定期的に清掃（電源プラグを抜き、乾いた布で拭く等）する
電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災のおそれがあります。

アース接続

■アースは、D種接地工事に基づいて確実に取付けられているか、漏電遮断器が設置されているか確認する
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
※アースや漏電遮断器を取付ける電気工事は販売事業者にご相談ください。
■アース線は絶対に取外さない
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

ぬれ手禁止

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電のおそれがあります。

接触禁止

■雷が発生しているときは電源プラグに触れない
感電のおそれがあります。

⚠ 注意

使用禁止

■一般家庭用以外の目的に使用しない
業務用として使用しないでください。寿命が著しく短くなります。

禁　止

■異物を取り除くときとバスケットを取り外すとき以外は、投入口に手を入れない（特にお子様には注意）
バスケット内のブレードなどで、手にけがをするおそれがあります。

■シンクに連続して60℃以上の温水を流さない
シンクに高温の油を絶対に流さない
排水管・バスケット・本体の変形や劣化が発生し、水漏れのおそれがあります。
カップ麺等のお湯を捨てるときは、水を流しながら捨ててください。

■フタスイッチが閉まらないときは無理やり押し込まない
破損のおそれがあります。

■生ごみは無理に押し込まない
生ごみが破砕できなくなります。また、モーターに負荷がかかりすぎ、故障のおそれがあります。

■火のついたタバコなどを投入しない
本体の変形によるショート・発火のおそれがあります。

■ディスポーザの回転が完全に停止するまで、ディスポーザの中には手などを入れない
けがのおそれがあります。

■排水トラップを分解しない
水漏れのおそれがあります。

■磁気に弱いもの（磁気カードや時計など）をフタスイッチに近づけない
磁気に弱いもの（磁気カードや時計など）が破損したり、故障のおそれがあります。

■生き物の水槽のお手入れをキッチンでしない
水槽の敷石などがかみ込んで故障のおそれがあります。

■髪の毛の洗い水を流さない
髪の毛がブレードの軸にからまり故障のおそれがあります。

■除草剤、配管洗浄剤、漂白剤、多量の酸・アルカリ性洗剤等は流さない
ディスポーザ本体や配管を劣化させ、排水処理槽での処理を妨げます。

■固形・粉末や高濃度の液体塩素系洗剤を使用しない。また、ディスポーザ周辺に保管しない
水や湿気に反応して発生するガスが金属や樹脂・ゴムなどを劣化させ水漏れや故障のおそれがあります。
保管場所や使用に十分注意してください。

「塩素系ヌメリ取り剤」について
塩素系ヌメリ取り剤は水分に反応して塩素系ガスを発生します。このガスはステンレスなどの金属をさびさせたり樹脂やゴムを劣化させます。誤って入れてしまった場合は、十分な水でよく洗い流してください。

必ず守る

■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火し、火災のおそれがあります。

■長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・漏電火災のおそれがあります。

■キャビネット内に収納したものがディスポーザ本体に当たらないよう5cm以上はなす
特に、ビン類や陶器類などの割れやすいものはディスポーザ本体の近くには置かない
割れてけがをしたり、異音や振動のおそれがあります。

■本体から高圧洗浄を行わない
本体から行うと排水管がゆるみ、水漏れのおそれがあります。

注意喚起

■バスケット、フタスイッチを落とさないよう注意する
床が傷ついたり、けがをするおそれがあります。
バスケット、フタスイッチが破損したり、変形したりすることで性能低下するおそれがあります。

■本体に触れる場合は高温になっている場合があるので注意する
やけどのおそれがあります。

■バスケットを取外し、ブレードを清掃する際、厚手の手袋などを着用し手を挟まないように注意する
バスケット内のブレードなどで、手にけがをするおそれがあります。

各部の説明

フタスイッチ

上フタ

下フタ

※フタスイッチは上フタと下フタに取り外すことができます。

バスケット（破砕部）

ブレード

シンクフランジ

本体

制御ボックス

電源プラグ

アース線（D種接地）

連絡ラベル

ディスポーザの上手な使い方、消耗品に関する情報はこちら

故障時の連絡先

0120-228-457

365日 24時間受付

排水管

排水トラップ

※排水トラップは形状が異なる場合があります。

過負荷保護装置

正常時　作動時

過負荷保護装置とは、製品が異常負荷となったとき、作動する安全装置です。電源スイッチではありません。

⚠ **注意**	キャビネット内に収納したものがディスポーザ本体に当たらないよう5cm以上はなす 特に、びん類や陶器類などの割れやすいものはディスポーザ本体の近くには置かない 割れてけがをしたり、異音や振動の原因となります。

フタスイッチの使い方

●上フタと下フタを一体にして使う

上フタ、下フタの取付けかた

上フタの∨と下フタの∧を合わせて上フタを図の矢印の方向に回して上フタを組付けます。

上フタ、下フタの取外しかた

下フタを押さえながら上フタを矢印の方向に沿って回して取外します。

必ず守る

■ディスポーザを運転するときは上フタと下フタを**一体にして**使用する

メモ

◇上フタのみで動作させないでください。正常な動作が行われません。
上フタと下フタが取り外せる構造になっているのは下フタの小さい穴のお手入れをしやすくするためです。下フタの小さい穴が詰まってしまうと破砕性能が低下するおそれがあります。取り外してこまめな清掃をお願いします。（P11を参照してください）

ブザーの種類

	どんな時に鳴る?	ブザー音	備考
おしらせ音	電源投入時	「ピ」	
	フタスイッチをONにした時	「ピ」	
	破砕運転が終了した時	「ピ」	破砕運転は投入物により60～120秒運転します。
警告音	破砕中にフタスイッチをOFFにした時	「ピピピピピピ」	破砕処理は自動で止まるまで継続してください。（約60～120秒）
	過負荷運転の時※	「ピピピ　ピピピ…」	フタスイッチを外せばブザー音は止まります。スプーンなどが入っていた場合、取り除き、再度フタスイッチをONにして破砕を続けてください。
	過負荷運転が3回を超えて続き冷却が必要な時	「ピーピーピーピー」	冷却が必要です。機械は動きません。5分間待機状態になります。5分経過後ブザーが鳴ります。その後、通常動作ができます。
			5分間待機中にフタスイッチを外し再度フタスイッチをONにすると、「ピーピーピーピー」とブザーが鳴ります。5分間冷却させてください。
	本体に何か問題があった時	「ピピピピピピ…」 「ピー」 「ピーピーピーピーピー」	5秒間継続して鳴り続け停止します。問題が解消されないと、フタスイッチをONする度に5秒間鳴ります。電源プラグを抜いて再び動作させ改善しない場合は、使用を中止し、電源プラグを抜いてください。 **マックスお客様ご相談ダイヤル** **0120-228-457**　へご連絡ください。

※かたいものや、多量の生ごみを投入すると、過負荷運転となります。

使い方

① フタスイッチをはずすし、バスケットの装着を確認する

手袋をして、バスケット内のブレードを手で半回転以上回して確実に装着してください。

② 生ゴミを投入口から入れる

1回の投入量の目安はバスケット内部の目盛までの量です。

生ゴミの量が多いとフタスイッチが閉まらない場合があります。
1回の投入量を減らしてください。
※投入してはいけないものがあります。3ページを参照してください。

⚠ 注意

■生ごみは無理に押し込まない
生ごみが破砕できなくなります。また、モーターに負荷がかかりすぎ、故障のおそれがあります。

■スプーンやフォークが誤って投入されていないか確認する
故障･水漏れにつながる原因となります。

③ フタスイッチの∧とシンクフランジの「OFF」が合うようにフタスイッチをセットする

上フタと下フタが一体（フタスイッチ）となっていることを確認してください。
∧ 印をシンクフランジの『OFF』に合わせて、取付けてください。

⚠注意

■フタスイッチを時計などの精密機械に近づけない
フタに内蔵されている磁石で、機器故障のおそれがあります。

■上フタのみで動作させない
正常な動作が行われません。

④ シャワー水栓はストレートに切り替え、浄水器は原水に切り替える

シャワーのまま使用すると、水の量が少なくなり、配管の詰まりのおそれがあります。
浄水のまま使用すると、水栓の故障のおそれがあります。

⚠ 注意

■シャワー引出水栓から出てくる水をためたりしない
使用中はディスポーザ内に水が常に流れる状態にしておく

■シンクに連続して60℃以上の温水を流さない。シンクに高温の油を絶対に流さない
排水管･バスケット･本体の変形や劣化が発生し、水漏れのおそれがあります。

⑤ 必ず水を全開（毎分約8リットル）で流す

運転中は絶対に水を止めないでください。
水を流さないと、破砕処理が正常にできず、本体内部の部品が、はやく摩耗するおそれがあります。
また、排水管に流れきらないゴミが堆積し、排水管が詰まるおそれがあります。

⑥ フタスイッチをまわして『ON』にする

❶フタスイッチを「**ON**」にするとブザーが「**ピ**」と鳴り、破砕が開始されます。
破砕運転はブレードが正転と反転を繰り返します。
運転は自動停止するまで必ず継続して行ってください。
ただし運転中に異音がしたり異常な振動がある場合は、すぐに運転を止めてバスケット内を確認してください。
（誤ってスプーンなどの金属類が入っている場合、故障や配管の詰まりのおそれがあります。）

フタスイッチがまわらない場合は、
1.生ゴミの量が多い可能性があります。生ゴミを減らしてください。
2.バスケットが所定の位置に収まっていない可能性があります。もう一度①を行ってください。

・フタスイッチを早く回しすぎると反応しないことがあります。
◇安全にお使いいただくために、フタスイッチを「OFF」の位置から「ON」の位置にするまでの時間を2秒以内と制限しています。遅すぎると反応しません。
・フタスイッチを外さずに連続での運転はできません。
連続で運転する場合は、1度フタスイッチを外してから再度「ON」にしてください。

❷破砕運転が終了すると、ブザーが「**ピ**」と鳴り自動停止します。
フタスイッチを OFF にしてください。
フタスイッチを OFF にして5秒以上たってから水を止めてください。

メモ
◇破砕運転中のブレードの回転方向で、動作音が変化しますが、故障ではありません。
◇かたいものや、多量に生ごみを投入すると、ブザーが「ピピピ　ピピピ…」と継続して鳴り、自動停止し、破砕が中断したことをお知らせします（故障ではありません）。フタスイッチを外せばブザー音が停止します。

⑦ 自動停止後の確認

フタスイッチをはずし、バスケット内に破砕物が残っていないか確認してください。
残っていたら、もう一度③から運転してください。

お手入れのしかた

⚠ 警告	■お手入れの際は必ず手袋を着用する けがをするおそれがあります。 ■改造は行わない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理は行わない 火災・感電・けがのおそれがあります。 修理は、**マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-457** へご連絡ください。
⚠ 注意	■バスケットを取外し、ブレードを清掃する際、厚手の手袋などを着用し手を挟まないように注意する　バスケット内のブレードなどで、手にけがをするおそれがあります。
	■バスケット、フタスイッチを落とさないよう注意する 床が傷ついたり、けがをするおそれがあります。 バスケット、フタスイッチが破損したり、変形したりすることで性能低下するおそれがあります。

フタスイッチ（上フタ、下フタ）

上フタと下フタを分け、水で洗ってください。
下フタは小さな穴を中心に、よく洗ってください。小さい穴がふさがっていると、破砕性能が低下するおそれがあります。

上フタ、下フタの取外しかた

下フタを押さえながら上フタを図の矢印方向に回して取外します。

上フタ、下フタの取付けかた

上フタの∨と下フタの∧穴を合わせて上フタを図の矢印方向に回して上フタを組付けます。

バスケット

・ブレードを持ち、まっすぐ引き抜いて清掃してください。
・ブレードに指を挟まないように注意し、水を流しながらスポンジ・ブラシ等で洗ってください。

バスケットの装着方法

①本体の溝部にバスケットの突起部を合わせ、挿入してください。
バスケットの装着は確実に行ってください。

②バスケット挿入後、バスケット内のブレードをゆっくり手で回してください。半回転以上回すと、バスケットが装着されます。

本体内側

バスケットを外して、スポンジ等で洗ってください。

シンクフランジ

シンクとシンクフランジのすき間に入った細かいゴミや汚れなどは、ブラシ等でかき出すように洗ってください。

排水トラップ

排水管の詰まり防止のため、1週間に1回程度、フタスイッチとバスケットを外し、鍋や洗いおけなどに溜めた多めの水を一気に流してください。（6リットル/回）

本体・制御ボックス・排水管

柔らかい布で拭いてください。
（汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤または石鹸水をふくませた布をかたくしぼってお使いください。）
シンナー・ベンジン・アルコール・灯油などは使用しないでください。
（変色・変形の原因になります。）

⚠ 警告	■本体各部や制御ボックスに直接水やお湯・洗剤等をかけない 火災・感電、故障や高温水の滴下によりやけどのおそれがあります。

● 水の流れが悪くなったら

<バスケットを使用した自己メンテナンス方法>

取り出したバスケットにポリ袋をかぶせます。
バスケットをゆっくりと本体に装着しながら、上下に押し引きしてください。
軽度な配管詰まりなら、解消できます。

動画でcheck!

消耗品

交換用アイテムのご用命は下記で受け付けております。

ネットからもらくらく注文!
住環境店舗MAX　検索
スマホ、タブレットでアクセス!
消耗品トップページ

https://www.jyukan-shop-max.com/

住環境店舗MAX　0120-631-722

名　称	バスケット	フタスイッチ
商品名	バスケット（182M/F/A-2）	フタ（182M/F-2）
商品番号	JP90071	JP90074
入　数	1	1
商品ページ		

故障かな?と思われたら

●故障と思われたら、症状に応じて次のことを点検・処置してください。

症　状	原因と点検していただきたいこと	処置方法	参照頁
破砕された生ごみがバスケットに残っている	投入してはいけないものが入っている可能性があります。	投入してはいけないものを取り除いたり掃除してください。	3,4,11
	下フタの穴が目詰まりしていませんか?	下フタを清掃してください。	2,11
	少量の水で破砕していませんか?	水は全開（最大量）で流してください。また、破砕中に水を止めないでください。	2,9,10
水の流れが悪い	配管内が詰まっている可能性があります。	P12に記載されているバスケットを使用した自己メンテナンス方法または、ラバーカップを使用して詰まりを取ってください。 上記で解消されない場合は**マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-457**へご連絡ください。	12
水が詰まった			
フタスイッチを『ON』にしてもブザーも鳴らないし、運転もしない（一旦フタスイッチを外し、再度フタスイッチをONにしてください。）	停電していませんか?	停電の解除を待ってください。	—
	配電盤のブレーカーが「OFF」になっていませんか?	配電盤のブレーカーを「ON」にしてください。	—
	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグを入れてください。	7
	フタスイッチの回転が遅すぎませんか?	フタスイッチをはずして再度「ON」にしてください。	10
	連続で動作させていませんか?		
	過負荷保護装置が作動していませんか? 正常時　作動時	使用を中止し、電源プラグを抜いてください。 **マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-457**へご連絡ください。	7
フタスイッチを『ON』にすると『ピ』というスタート音が鳴り、運転しない	本体の故障です。		
フタスイッチを『ON』にすると『ピピピピピピピピピ』と鳴り続け、運転しない	回路上の故障です。		
運転中に本体から、異常音がしたり、異常な振動がある	大きなものや、かたいものを破砕していませんか?	できるだけ細かくして投入してください。	2
	生ごみを詰め込み過ぎていませんか?	投入量を減らして、数回に分けて破砕してください。	2,9
	スプーンなどの金属類やプラスチック類を、誤って入れてしまっていませんか?	厚手の手袋などを着用して、バスケット内の異物を取り除き、ブレードが手で回ることを確認してください。	11
1回の運転中にブザーが『ピピピ　ピピピ･･･』と鳴り続け、運転しない　運転時間が60秒より長い	大きなものや、かたいものを多量に投入していませんか?（過負荷運転）	モーターのロックを防止するため、ブレードの回転を逆転させています。故障ではありません。 できるだけ細かくして投入してください。	8
音が途中で変わる	反復動作を繰り返します。異常ありません。	—	10
フタスイッチを「ON」にすると、ブザーが「ピーピーピーピー」と鳴り続け、運転しない	過負荷運転を3回繰り返した後に再度運転しようとしていませんか?	短時間に連続で3回を超えての動作を繰り返すと5分間程度動作を受け付けないことがあります。フタスイッチを「OFF」にし、約5分間待つとブザーが「ピーピーピーピー」と鳴ります。その音を確認してからフタスイッチを「ON」にしてください。	8
本体から水が漏れる	シンク接続部や配管接続部が緩んでいませんか?	止水栓を閉め、使用を中止し、電源プラグを抜いてください。 **マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-457**へご連絡ください。	—
	スプーンなどの金属類を誤って入れてしまっていませんか?		
本体に水滴がつく	使用環境によっては、結露などの水滴が本体に付着することがあります。異常ではありません。	—	—
フタスイッチが閉まらない	生ゴミを入れ過ぎていませんか?	生ゴミの投入量を減らしてください。	9
	フタスイッチが正しい向きに装着されていますか?	フタスイッチの向きを合わせてください。	9
	バスケットがきちんと装着されていますか?	バスケットの装着を確認してください。	11

症　状	原因と点検していただきたいこと	処置方法	参照頁
フタスイッチがあけにくい（取外しにくい）	スプーンなどの金属類がつまっている可能性があります。	万一、外れない場合は、**マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-457**へご連絡ください。	—
フタスイッチがまわらない	バスケットがきちんと装着されていますか?	バスケットの装着を確認してください。	*11*
	生ゴミの量が多くありませんか?	生ゴミの投入量を減らしてください。	*2,9,10*
ニオイがする	下フタやバスケットに生ゴミがたまっていませんか? 下フタやバスケットおよび本体内側のお掃除はしていますか?	下フタやバスケットおよび本体内側を清掃してください。	*11,12*
スイッチをONにしても「ピピピピピピ」と鳴って、運転しない	下フタがついていますか? 上フタだけでONにしていませんか?	下フタと上フタをあわせて、「フタスイッチ」として使用してください。	*2,8*
運転音がうるさい			
フタスイッチを振るとカタカタ音がする	フタスイッチに内蔵されている磁石の音です。故障ではありません。	—	—

以上のことをお調べになっても、なお異常があるときや、ご不明の点がございましたら **マックス お客様相談ダイヤル *0120-228-457*** までご連絡ください。
※賃貸でお住まいの場合は、管理会社様、または所有者様へご連絡をお願いいたします。
不完全な処置は事故の原因となりますので、修理は絶対にお客様自身でなさらないでください。

アフターサービスについて

修　理

修理を依頼される前に、P13の「故障かな?と思われたら」をもう一度ご確認ください。

修理のお申し込み

確認後も異常があるとき、またはご不明な点がある場合は、自分で修理せずに、マックスお客様ご相談ダイヤルまたはインターネットでご連絡ください。
なお、ご連絡の際は下記事項をお知らせください。

マックスお客様ご相談ダイヤル（無料）

365日　24時間受付

0120-228-457

ホームページ：***https://www.max-ltd.co.jp/support/repair/dry-fan/***

1. 品　名：ディスポーザ
2. 品　番：GD-B182M-2
3. 取付年月日
4. 故障または異常の内容（できるだけ詳しくお知らせください）
5. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しくお知らせください）

保証・修理について

●本書の裏表紙が保証書となっています。保証書に記載されていますように、機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。

●保証期間経過後の修理については、当社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、有償で修理をお受けいたします。

補修用性能部品・整備用部品の保有期間

補修用性能部品・整備用部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。保有期間後の修理・整備は部品がなく、できない場合がありますので、ご了承ください。（補修用性能部品・整備用部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

仕様

品　名	ディスポーザ
品　番	GD-B182M-2
質　量	4.4 kg
電　源	AC100V　50／60Hz

設置場所	流し台シンク下
電動機形式	DCブラシレスモータ
定格消費電力	動作時：42W（50Hz/60Hz） 待機電力（運転停止時）：約3W
破砕部容量	約0.9L（1回あたりの処理容量：約250g）
運転方式	フタスイッチ型バッチ方式

破砕方式	正逆反転ブレード破砕方式
安全装備	過負荷保護装置、漏電検出回路、ブレーキ機構、漏水検出装置
外形寸法	幅169mm × 奥行212mm × 高さ332.7mm
電源コード	長さ 1.4m
アース線	長さ 1.6m、緑/黄色
排水管	排出口 φ 38mm

保証書

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この保証書はお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、
本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

お客様	お名前 〒 ご住所 TEL
販売事業者名	お名前 〒 ご住所 TEL
保証期間	お買い上げ　　年　　月　　日から2年間

品　名
ディスポーザ

品　番
GD-B182M-2

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、取付説明書に従った正常な使用状態で、上記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売事業者、当社または代行店が無料修理致します。
2.保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売事業者または、当社にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
　なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売事業者にご相談ください。
4.ご贈答品で、本保証書に記入してあるお買い上げの販売事業者に修理が依頼できない場合には、当社にご相談ください。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
6.本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
7.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後、取付場所の移動･落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災、塩害、地震、風水害、煤煙、腐食性などの有害ガス、ほこり、落雷、異常気象、ねずみ･鳥･くも･昆虫類の侵入およびその他の天災、地変による故障および損傷。
（ニ）取付説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
（ホ）業務用の場所でご使用になられた場合。
（ヘ）車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
（ト）樹脂仕上、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
（チ）機器に表示してある電源、電圧以外の電源、電圧で使用された場合。
（リ）本書の提示がない場合。
（ヌ）本書にお買い上げの年月日、お客様名、販売事業者名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
（ル）消耗部品の取替および保守などの費用。
（ヲ）水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、下記フリーダイヤルへご連絡ください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは修理欄をご覧ください。

［お客様の個人情報のお取扱いについて］

当社は、お客様の個人情報を当社製品の点検修理、お問い合わせへの対応および製品、サービスの改善などに利用させていただき、これらの目的のためにお問い合わせ内容の記録を残すことがあります。なお、点検修理やその確認業務に携わる協力会社にもお客様の個人情報を開示することがありますが、当社と同等の管理を行わせます。

故障診断・お手入れ・使い方など
お困りごとをサポートします。
選択やフリーワード検索で操作も簡単！

チャットでのお問い合わせはこちら！

マックスお客様ご相談ダイヤル（無料）

365日　24時間受付

0120-228-457

マックス株式会社
〒103-8502　東京都中央区日本橋箱崎町6-6

2版 2024年 4月
初版 2023年 3月